

- ・ 「かながわグランドデザイン 実施計画」は、2014(平成26)年度に最終年度を迎えるため、政策全般の点検を行う。
- ・ 最終年度の点検を見据え、近年の社会環境の変化について、基本的な視点を踏まえながら分析・検討し、県としての課題を整理する。

社会環境の変化

かながわグランドデザイン

近年の社会の動き

1 少子化、高齢化と人口減少

- ・ 少子化の進行、高齢化の加速
- ・ 神奈川の人口

- ・ 今後、確実に総人口は減少
- ・ 高齢化の加速
- ・ 地域間の差が拡大
- ・ 世帯構造や家族形態の変化

2 国際化と情報化

- ・ 経済の結びつき
- ・ 多様な文化が共存する地域社会
- ・ 情報化の動き

- ・ 2020年東京オリンピック開催
- ・ 環太平洋パートナーシップ(TPP)への参加
- ・ ASEANの経済統合
- ・ 新興国のインフラ需要とリスクの増加
- ・ 外国人観光客の復調
- ・ ITによるコミュニケーションサービスの進化
- ・ ビッグデータの活用
- ・ 個人情報の漏洩リスク

3 産業構造の転換と働き方の多様化

- ・ 産業構造の転換と技術・技能の継承
- ・ 企業の役割と新たな取組み
- ・ 新たな働き方
- ・ 農林水産業における担い手の多様化
- ・ 厳しい雇用情勢

- ・ 文化、観光、ヘルスケアなど新たな産業の成長
- ・ 在宅勤務など柔軟な働き方の増加
- ・ 農業の競争力強化への動きと企業参入
- ・ 所得格差の拡大と生活困窮者の増加
- ・ 労働力人口の減少

4 エネルギー・環境問題の新たな展開

- ・ エネルギー政策の転換
- ・ 環境問題の新たな展開
- ・ 環境保全活動の拡大

- ・ 水素などエネルギー事情の変化
- ・ 燃料電池車の本格導入
- ・ 気候変動と災害の発生
- ・ 広域的な大気汚染、海洋汚染
- ・ 生物多様性の取組み

5 暮らしの様々な変化

- ・ 災害から身を守る意識の高まり
- ・ 放射能汚染の影響
- ・ 身近な犯罪や事故の多発
- ・ 地域の医療の安心
- ・ 地域や家庭の変化
- ・ 自殺者の状況
- ・ NPOの多様な活動
- ・ 課題を抱える子どもたち
- ・ 障害者をとりまく変化
- ・ 若者をめぐる状況
- ・ 男女共同参画の進展
- ・ 高齢者の活動
- ・ 増加する生活習慣病

- ・ 首都直下地震等の被害想定
- ・ インフラの老朽化
- ・ 身近な犯罪や高齢者事故の増加
- ・ サイバー犯罪の増加
- ・ 在宅医療・在宅介護の必要性の増加
- ・ 一般用医薬品のインターネット販売の解禁
- ・ 医療のICT化の進展
- ・ 社会保障制度の改革と社会負担の増
- ・ 空き家の増加
- ・ いじめ・体罰の社会問題化
- ・ 小中学校の児童・生徒数の減少
- ・ 「障害者の権利に関する条約(仮称)」への対応
- ・ 支援が必要な障害のある子どもの増加
- ・ ブラック企業等若者の就労環境の悪化
- ・ 若者を中心としたインターネット依存症

6 地方分権改革の進展

- ・ 地方税財政制度改革の進展
- ・ 市町村の合併の進展
- ・ 広域行政課題への対応

- ・ 国による義務付け、枠付けの見直しの進展
- ・ 国から地方への事務権限移譲等の検討
- ・ 社会保障と税の一体改革による地方税財源の充実・強化の進展
- ・ 道州制などの検討

基本的な視点

「かながわグランドデザイン 基本構想」における「1 政策展開の基本的視点」

- 1 神奈川からエネルギー政策を転換します。
- 2 環境と共生し持続可能な社会づくりを進めます。
- 3 暮らしの安全・安心を確保します。
- 4 地域に活力を生み出します。
- 5 少子化、高齢化への対応を進めます。
- 6 豊かさの質的充実に支援します。
- 7 県民との協働・連携を強化します。
- 8 地域主権を実現し、広域連携の強化など広域自治体としての責任を果たします。

検討にあたっての4つの視点（参考資料4）

高齢者標準社会への転換

経済のエンジンを回す取組みの推進

成長を支える人づくりの加速

新たなコミュニティの創造

検討が必要な事項

「かながわグランドデザイン」を踏まえつつ、今後検討が必要な事項（例）

エネルギー・環境

- 新たなエネルギー政策の展開 <<< (例) 新たなエネルギー技術を踏まえた取組み
- 地球温暖化対策の推進
- 循環型社会づくり
- 生活環境の保全 <<< (例) 広域的な大気汚染への対応
- 自然環境の保全・再生と活用

安全・安心

- 大規模な災害への対応力の強化 <<< (例) 新たな被害想定への検討
- 犯罪や事故のない安全な地域社会づくり <<< (例) 高齢者を狙う犯罪への対応
- 生活の安心の確保
- 基地対策の推進

産業・労働

- 産業集積の促進 <<< (例) TPPやASEANの経済統合への対応
- 地域資源を生かした産業の振興 <<< (例) 特区等を活用した地域産業振興の取組み
- 農林水産業の活性化
- 就業支援と職業能力の向上

健康・福祉

- 支えあう地域社会づくり <<< (例) 在宅医療の推進
- 高齢者を標準とするしくみづくり
- 障害者が安心してくらするしくみづくり
- 地域における保健・医療体制の整備 <<< (例) 新たな技術に基づく医療の普及
- 保健・医療・福祉人材の育成と確保等

教育・子育て

- 子ども・子育てを支える社会環境の整備 <<< (例) ワークライフバランスの推進
- 支援を必要とする子ども・家庭への対応 <<< (例) 障害のある子どもたちへの対応
- 若者が心豊かに育ち自立できる社会づくり
- 希望に満ち信頼あふれる学校づくり
- 変化に対応した学びの推進

県民生活

- ともに生きる地域社会の実現 <<< (例) 女性の活躍支援の取組み
- 新しい公共を担う多様な担い手への支援
- 文化芸術に親しむ環境づくり
- スポーツを楽しむ暮らしづくり <<< (例) 健康寿命延伸の取組み
- 暮らしと行政の情報化の推進 <<< (例) ネットワークサービスを前提とした社会開かれた県政の推進への対応

県土・まちづくり

- 持続可能な県土づくり <<< (例) 社会資本の戦略的な維持管理・更新
- 総合的な交通ネットワーク形成の推進
- 美しく住みやすい住まい・まちづくり
- 地域の特性を生かした地域づくり <<< (例) 高齢者標準社会への対応